



ほ 多 当

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆
～あなたの悩み事は当社までご相談下さい～
【今月の一冊】 ChatGPT vs. 未来のない仕事をする人たち
堀江 貴文 著 サンマーク出版
ホームページ URL <http://primecorporation.jp/>

発行日 2024年3月1日 Vol. 257
発行元 有限会社プライム・コーポレーション
代表取締役 渡 邊 敏 徳
〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲 147 番地
TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

世界第4位へ転落

日本の経済規模が2023年にドイツに抜かれ、世界4位に転落したというニュースが流れました。物価変動を加味した名目GDP(国内総生産)の米ドル換算と比較しているため、円安で日本のGDPが目減りした一方、ドイツは高いインフレ率で押し上げられたことが影響したことが大きな要因となりました。ただ、今回の逆転は長期にわたるデフレ経済の下で物価も賃金も上がらず、日本経済が停滞し続けた結果だとも言えます。

高度経済成長期の「いざなぎ景気」に沸いていた1968年、日本の国民総生産(GNP)は当時の西ドイツを上回り、アメリカに次ぐ2位に浮上しました。

しかし、バブル崩壊で90年代後半以降、デフレの悪循環に陥って賃金や企業の国内投資が伸び悩み、成長率は低迷。2010年にGDPで中国に抜かれました。人口減少で経済規模はさらに縮むことが予想され、IMFの予測では、2026年には人口規模が大きく成長著しいインドに名目GDPで抜かれ、5位に転落する見通しとされています。

最近の賃金や価格転嫁の動向から、内閣府幹部は「20年以上のデフレとの戦いは最終コーナーにきている」と、脱却への手応えを口にしますが、内需の柱の個人消費や設備投資はコロナ禍後の回復が息切れし、2023年10～12月期の実質GDPは2四半期連続のマイナス成長に陥っています。デフレ脱却に向け、「賃上げの動きを粘り強く継続することが重要で、賃金を上げて、企業の投資も増やす好循環が必要だ」と経済アナリストは指摘します。



しかし、大手は賃上げが可能かもしれませんが、なかなか難しいのが中小企業です。株価が4万円代へとされていますが、株価と景気観のギャップはやはりしっくりきません。「物価高騰、増税、人手不足、高齢者人口の増加、2024年問題など明るい材料が見当たらない」など先行きを不安視する声は依然として多く、暫く景気は停滞感が強い状態が続く可能性が高いと思います。

とても厳しい状況が続く中ではありますが、次の新しい対策を小さくてもはじめることが大切なのだと感じます。やれることから始めましょう。

飛躍

今季、メジャーリーグでプレーする日本人選手は12人。やはり注目はドジャースへ移籍した大谷翔平です。2024年のMLBレギュラーシーズン開幕戦は3月20日(水)に史上初となるソウル(韓国)で開幕します。ドジャースは、松井裕樹やダルビッシュ有が所属するパドレスと対戦する予定です。

昨年3月にWBCで共に戦ったサムライたちがいきなりMLBの舞台で共演する可能性も十分にあるのでとても注目が集まります。昨年は日本人として初めてメジャーリーグで本塁打王に輝いた大谷翔平は、昨シーズン後半でケガをしてしまっているためリハビリや調整がとても大切になりますが、開幕戦に名を連ねる可能性は間違いのない状況です。

大谷翔平の魅力は、私たちが想像する以上の結果を出してくるところだと言えます。本年度も昨年以上の結果が期待されます。投手が肘のトミー・ジョン(TJ)手術を受けた場合、復帰できるのは通常12～18カ月後とされており、2度目の手術の場合にはさらに時間がかかる可能性



があります。チームドクターのニール・エラトロッシュ氏はロサンゼルス・タイムズのインタビューで「すべてが計画通りに進めば、今年の9月には試合形式で登板する準備ができる。初のTJ手術が行われてから、ちょうど50年の記念すべき時期だ。巡り合わせとは不思議なものだ。まるで運命のようだ」と語っています。今までの常識を打ち破ることをやってのけるのが大谷翔平です。今年のシーズン終盤戦に二刀流復活が見られるかもしれませんね。更なる飛躍を期待します。



【座右の銘にしたい名言】



短い人生は時間の浪費によっていっそう短くなる。

サミュエルジョンソン(英国の詩人、批評家)